

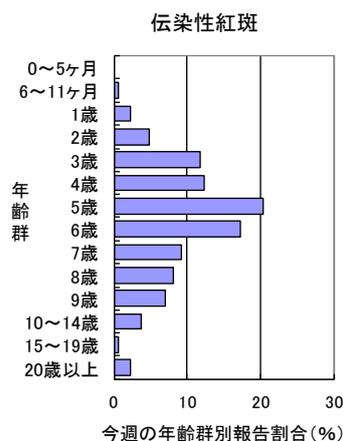
【今週の注目疾患】

伝染性紅斑

2015年29週の県全体の定点当たり報告数は、28週の1.34から増加し1.39となった。2015年1～29週の報告数は3,419例となり、過去4年間で報告数の多かった2011年の3,312例を越えた。

保健所別定点当たり報告数は、市原(3.14)、海匝(2.25)、習志野(2.10)、夷隅(2.00)、船橋市(1.82)、千葉市(1.53)、長生(1.50)、松戸(1.44)、市川(1.42)が多い。

2015年29週に報告された186例の性別は、男性88例(47.3%)、女性98例(52.7%)で、年齢群別では、3～6歳が115例で61.8%を占めていた。



<参考>

国立感染症研究所から発行されている感染症発生動向調査感染症週報(IDWR)2015年第26号の注目すべき感染症として「伝染性紅斑(ヒトパルボウイルス B19 感染症)」が取り上げられています。

URL: <http://www0.niid.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2015/idwr2015-26.pdf>

